

こもろ 市議会だより

6月定例会

No. **175**
平成 30.8.8



千曲川硬式野球クラブ+南保育園園児

豪雨により被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます

主な内容

- 6月定例会の概要 …………… 2ページ
- 常任委員会報告 …………… 3～5ページ
- 「議会と語る会」開催報告 …… 6～7ページ
- 一般質問（15名）…………… 8～15ページ
- ぼいす（千曲川硬式野球クラブ）
傍聴席・編集後記 …………… 16ページ

6月議会で決まったこと

主な議案

本定例会では、市長から補正予算のほか、条例改正等18件が提案され、それぞれ可決、承認しました。

このほかに議員提出議案が4件あり、すべて原案どおり可決しました。

・宿泊・交流施設として改修中の旧北国街道小諸宿脇本陣の基礎の補修・補強工事費2千万円。

・坂の上小学校の給食用ボイラーの更新費用として240万円。

【水道事業会計】

・水道技術管理者資格取得に係る旅費等66万円余を増額。

・道路改良工事に併せた配水管布設替工事費810万円を増額。

◆補正予算

【一般会計】

総額1億3千万円増額

・滝原区・三和区の公民館備品等整備事業、大杭区の除雪機整備事業、耳取区の防災用備品整備事業に対しコミュニティ助成事業金720万円。

ノートパソコン等に加え、その使用料を定めることなどの改正です。

【小諸市西小諸活性化施設（見晴らし交流館）条例の一部を改正する条例】を可決

調理実習室の使用料について、光熱水費の実費分を勘案し、改正を行い、時間区分ごとの料金が1千500円になりました。

【質疑】 多目的広場の利用料金は個人・団体とも同じ金額か。

【答弁】 研修室や調理室を含め、人数に関係なく金額の設定をしている。

【小諸市都市公園条例の一部を改正する条例】を可決

都市公園法施行令の一部改正により、都市公園に設ける運動施設率の基準を定めることが必要となったため条例の一部改正を行います。

【質疑】 この条例改正により該当となる都市公園はあるのか。

【答弁】 現在のところ基準を超えるところはない。

【市営住宅の明渡し及び滞納家賃の請求に伴う訴えの提訴】を可決

2件の明渡し案件に対し議会の議決を求められました。

【質疑】 滞納家賃の期間と金額はどのくらいか。

【答弁】 平成20年1月〜平成30年3月までで、2件総額174万円余である。

【質疑】 法律事務所に委託するのは、滞納してからのどのくらい経過した場合か。また、その前には滞納者に対しどのような働きかけをしているのか。

【答弁】 委託の明確な基準は設けていないが、極めて徴収が困難な案件について随時委託している。通常、長野県住宅供給公社に滞納整理をお願いしているが、市の担当者も一緒に滞納者への交渉に当たっている。

◆条例等

【市民交流センター条例の一部を改正する条例】を可決

交流センター使用者のための備品器具に新たに

議案についての主な質疑

○ふるさとPR事業のドローン1機の購入について

質疑 購入の目的と操縦技術の対応はどうするのか、また、民間会社への委託の検討はしたのか。

答弁 災害対応・行方不明者捜索、不法投棄調査等に活用する。操縦は担当部署や希望する職員

に対して研修会を行なう。元気づくり支援金の助成が得られたことから、民間委託よりも職員が行うほうが有利と考えた。

○修理不能と判断した坂の上小学校給食棟ボイラーの交換について

質疑 備品の故障により給食の提供に大きな影響はないのか。

答弁 故障した場合、現場の工夫で対応をお願いしている。それができる備品かどうかについては判断して対応したい。

○図書館・市民交流センター費について

質疑 前年度の寄附金での図書購入費100万円について、具体的な使いみちは何か。

答弁 通常の予算では購入できない大型絵本など予定している。

質疑 学校図書館の図書の充実が難しいことから、市立図書館との連携による図書の補足の取り組みはどうか。

答弁 学校図書館の司書から依頼があり、その本が市立図書館にあれば優先的に貸し出している。学校の庁務員が運搬をしてくれており、連携できている。

○地域福祉基金について

質疑 今後の使い方をどのように考えているか。

答弁 社会福祉の充実のために使う基金なので、複合型中心拠点誘導施設の中の高齢者福祉施設建設の財源の一部として使用することを検討できないか考えている。

意見 地域福祉に貢献できるような活かすことを要望する。

○生活保護適正化事業について

質疑 生活保護制度の改正があるが、小諸市での影響はどうか。

答弁 取りまとめをしている最中だが、影響する方は少ないとみている。該当する受給者にはその都度説明していく。

意見 間違いない丁寧な対応を求める。

○友愛訪問について

質疑 介護保険事業の補助対象から外れたとのことだがどういうことか。

答弁 独居高齢者宅に乳酸菌飲料を配布しながら安否確認を行う事業で、包括的支援・任意地域支援事業交付金を使って乳酸菌飲料購入費に充てていた。これは見守りに対する費用が補助対象だったため、今後友愛訪問事業は一般会計の中で市の単独事業として行うこととした。

質疑 国の交付金の内示率が低いと、今後は起債で工事を行うことが増えてくるのか。

答弁 道路舗装の修繕工事については国も重点項目から外してきている。内示率が37%で国からも事業債を活用するよう通知が来ている。

意見 幹線道路だけでなく、市民の生活道路も優先してほしい。

○懐古園の市有林整備について

意見 懐古園の市有林の部分に限って、市内企業の地域貢献活動としての寄付金を財源として森林整備を行うものです。

意見 ドローンの購入が予定されているので整備計画を立てるにあたり、ドローンで袴腰など外側から懐古園がどう見えているかを確認してほしい。



ドローン（イメージ）

○旧脇本陣の改修について

【水道事業会計】

質疑 当初5千万円で改修できるとして始まった。今回の補正予算も含めて総額でどれくらいかかっているか。今後は計画通り進むとみていいか。

答弁 29年度までの事業費と今回の補正で合わせて1億2千万円余になる。

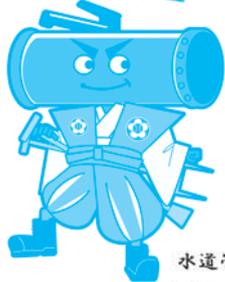
事前調査をしても実際にやってみないとわからない部分もあり、今後、追加補正が絶対ないとは言えない。

質疑 水道技術管理者の資格取得の費用について、職員の異動があるたび研修会に参加し資格を取得するのは。

答弁 アドバイザーのコンサルタントから市にも水道技術管理者が必要であるとの提言を受け、管理職において資格を取得することとした。

今後は、公民共同体へ市の職員を派遣する予定であり、派遣期間内に資格を取ってもらう仕組みを作っていくきたい。

みずから変える!



水道管助

© 2015 KOMORO CITY. All Rights Reserved.

複合型施設 調査報告

「議会と語る会」の市民要望50件を調査

予算決算委員会では「複合型中心拠点誘導施設構想」について、「議会と語る会」でいただいた市民要望について調査することになりました。

ボランティアセンターについて
委託先に予定している社会福祉協議会との打ち合わせ、ボランティアセンター運営委員や利用者との意見交換を行う予定。

・病児・病後児保育施設の規模の面積基準は1人当たり1・98㎡、保育士の配置基準は児童3人に1人となっているが規模については未定。利用は増えるの見込んでおり定員は6名ぐらいを予定。

全体の進捗状況について

病児・病後児保育施設について
運営については小諸医療センターに委託して行う。必要な規模や施設機能等、検討協議を行っている。医療センターの院内保育施設も隣接して整備するため、基本的な事項の覚書を締結する予定。

・利用料金については、今のところ通常の保育料とは別の方式を検討。

担当部署で委託先等の関係者と打ち合わせを進めている。7月には素案を示し、議会はじめ市民への説明会を行う予定。

・院内保育施設は事業所の保育施設であり、その部分の建設費は医療センターで負担してもらう方向で協議しており、テナント方式を想定している。現状25名を保育しており、同程度の規模を想定している。

・病児については治療中であっても急な対応が必要な病児は預けられない。具体的な受け入れ基準、エリア分け、感染力リスク等の対応の具体的な程度は病院と協議する。

財政見通しについて

向こう10年間の長期財政試算を行い見通しを立てており、現在のところ健全財政を維持できる見通しとなっている。

・院内保育施設は事業所の保育施設であり、その部分の建設費は医療センターで負担してもらう方向で協議しており、テナント方式を想定している。現状25名を保育しており、同程度の規模を想定している。

・病児については治療中であっても急な対応が必要な病児は預けられない。具体的な受け入れ基準、エリア分け、感染力リスク等の対応の具体的な程度は病院と協議する。

要望 市街地に作るこ
とが公平とは思うが、民
間活用や、今までどおり
浅間病院も利用できるな
ど利便性を図ってほしい。

**ファミリーサポートセン
ター事業について**

社会福祉協議会への委
託を予定しており、ボラ
ンティアセンターと合わ
せて具体的な内容を協議
する予定。

高齢者福祉施設について

・糠塚園の利用者の要望
は、アンケート調査で
拾い上げている。可能
な限り対応したい。ア
ンケートでは今の場所
がよいという回答もあ
るが、愛のりくんの運
行開始で乗り継ぎが必
要になり、それ以前よ
り5千人の利用者が減
少した。利用しなくな
った人、市内全域の今
後増加する高齢者の利
便性を考え、複合施設

の中で整備したい。

・設備面積は、現状の利
用状況に対応できる面
積は確保する。

・独居で入浴することに
不安のある方、入浴目
的での介護サービスを利用
している方が、この
入浴施設を利用するこ
とで不安が解消され、
介護サービスの抑制に
つなげられるようにな
る。入浴施設の整備、
トレーニング室の設置、
運動教室や介護予防教
室等の開催など、充実
した施設にしていきたい。

要望 入浴施設を求め
ている市民は多い。周辺
環境も含めしっかり検討
してほしい。

**公共駐車場・公共交通に
ついて**

・道路の混雑緩和の対応

では、国道141号に接続
する市道の拡幅と、入
出庫が容易な駐車場を
計画し、一方通行につ
いては公安委員会と協
議している。

・公共交通ターミナルの
設置場所は検討中。愛
のりくんの小型化につ
いては研究していきたく
い。

・市役所立体駐車場も含
め全体的な案内看板は、
段階的に検討したい。

要望 買い物に行つて
駐車料金は取れないので、
複合型施設の駐車場は公
共施設も無料が妥当と思
う。

複合型施設の素案と一
緒に駐車場運営計画を出
してほしい。



★当委員会は7月に基本
計画の素案が示され、
市民説明会、パブリッ
クコメントが行われる
ことなどから、閉会中
も調査を継続すること
とし、9月定例会であ
らためて報告いたしま
す。
委員会として行政に
対し、正確で迅速な情
報提供と丁寧な説明に
努め、市民とともに行
うまちづくりの中で、
市民益につながる事業
となるよう強く要望い
たしました。

請願・陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める 請願書	小諸市小中学校教職員組合 執行委員長 今井 誠	採択
	義務教育国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書	小諸市小中学校教職員組合 執行委員長 今井 誠	採択
陳情	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」 の採択を求める陳情書	佐久地区労働組合連合会 議長 小林 吟子	趣旨採択
	陳情書 新福祉施設基本計画にあたっての要望書	ボランティア有志の会 代表者 田中たま子	採択

5 / 9 ~ 16

「議会と語る会」を市内7会場で開催
 テーマ 「複合型中心拠点誘導施設構想」について

愛のりくんの料金が高い！
 立体駐車場は不便ではないか？



5/10 J A北大井店 15名参加

複合施設の行政説明会が遅い！
 愛のりくんを小型化できないか？



5/9 諸公民館 25名参加

集客力ある企業の誘致を！
 福祉施設は利用者の声を聴いて！



5/12 市民交流センター 24名参加

大きな事業で財政は大丈夫？
 高齢者・子育て共に良い施設を！



5/11 久保公民館 23名参加

施設が中心部ばかりだ！
 病児・病後児保育は保育園で！



5/15 みはらし交流館 29名参加

補助金ありきの事業はおかしい！
 衣料品を扱う施設がほしい！



5/14 J A三岡店 11名参加

通学路整備をしてほしい！
 この計画は市民益になるように！



5/17 和田研修センター 12名参加

小諸市議会では、市民の皆様から議会や市政に対する提言、意見等をお聞きし、小諸市の発展に活かすため、「議会と語る会」を小諸市区長会の皆様と共催で開催しました。
 今年度はテーマを「複合型中心拠点誘導施設構想について」とし、市内各地域の公民館等で開催し、市民の皆さまよりたくさんのご意見やご要望をいただきました。

市民の声を届ける要望書

小諸市議会では本年5月9日から5月16日にかけて、市内7ヶ所で「議会と語る会」を開催致しました。今回のテーマは「複合型中心拠点誘導施設について」で、市民139名の参加をいただきました。

全ての会場から出された意見としては、行政の進め方に対して、この「複合型中心拠点誘導施設の整備構想」は既に決まっているのではないかと、市民の意見を聞いてもらえるのか、どこまで反映されるのか、という声があった一方で、構想通り進めて欲しいという賛成の声もありました。

また、市が開催した説明会および「議会と語る会」への参加者が少なく、特に周辺部の市民の関心の薄さと構想を理解されていない実態が浮き彫りになりました。

具体的には複合型中心拠点誘導施設建設にあたり、財政への心配、公平な税金の使い方に対する疑問、これまでのコンパクトシティの核づくりの投資効果を検証すべき等々、批判的な意見が多く出され、まだまだ説明不足と言わざるを得ません。

公共施設への要望は様々で、また公共交通ターミナルおよび駐車場へは使い勝手の良さや利便性、安全性を保てる整備を望む声が多く出されました。

自治基本条例で謳われている市民協働が活かされておらず、基本計画の策定に至るプロセスにおいては市民協働が進められるよう、改善されることを強く望むものです。

商業施設に対しては(株)ツルヤ主導で良いのか、テナント料が回収できるのか等の、声、または是非ツルヤでやって欲しいという声も寄せられました。

複合型中心拠点誘導施設完成後の費用対効果と中心市街地活性化に向けての政策展開をどのように考えているのかとの声もあり、行政として市民の声を真摯に受け止め、より市民益につながる事業となるよう強く要望します。

議会の予算決算委員会でも今後審議していきますので、早い情報提供と丁寧な説明に努められ、総事業費29億円については増額の無いよう圧縮されることを求めます。

5/31

参加された皆様からいただいた意見を

「市民の声を届ける要望書」として市長に提出

地元課題に対する担当課回答

◆建設課

質疑 柏木下(古屋敷)

の厚生住宅の撤去と周辺の

の草刈り等をしてほしい。

回答 撤去は入居者の

関係もあり困難。まずは

草刈り等を実施したい。

る別荘地は、管理事務所

から通知をしている。

今後、松くい虫被害の

危険木を発見した際の対

応等については、広報等

により周知を図りたい。

質疑 石峠上付近のサ

ンラインに信号機設置を

回答 信号機の設置は、

所管である公安委員会へ

上申する。

質疑 6次産業化の加

工施設を整備してほしい。

回答 加工方法や製品・

商品の種類により、施設

や設備が異なるため、個

別に研究する必要がある。

製品によっては、小諸

市農産物加工施設(こも

ろすみれ)も利用できる

ので活用の提案をする。

◆農林課

質疑 松くい虫被害木

による被害や危険な場所

が増加している。山林所

有者に状況を知らせ、対

応をとる仕組みを構築し

てほしい。特に別荘地。

回答 松くい虫被害の

ある山林の隣接者等から

通報があった場合には、

山林所有者を調査し伐採

等をお願いしている。

また、管理事務所のあ

◆商工観光課

質疑 浅間山開きの際

の浅間山荘行きのバスの

運行を増便できないか。

回答 主催者である

「こもろ観光局」に要望

を伝え、来年に向け検討

するよう要請する。



佐久平駅アクセス道路は小諸市がリードせよ

高橋 公

質問

地元との連携はどうか。

市長

三岡の市・耳取・森山の3区に和田区を加えた4区による佐久平駅アクセス道路新設整備推進協議会設立の準備が進められている。

小諸市としては東南部開発などの政策と合致するところもあるので、積極的に関わって行きたい。

質問

協議会をどう支援していくのか。

建設部長

協議会の素案作りに加わり、佐久市建設部と情報を共有し、佐久建設事務所に要望を上げていく。

渋滞緩和と交通安全に貢献できるので期待している。

質問

佐久市・県との連携はどうか。

市長

県にはアクセス道路と既存県道の整備要望を機会あるごとに伝えてきたが、佐久市との協議が動き始めたので今後は国の補助金採択に向け具体的な協議を進めて行く。

建設部長

三岡地区との懇談で示されたルート案と佐久市の素案について両市で確認を始めた。

自治体間を結ぶ道路整備なので、地域のご意見を頂き、両市の建設部局で協議を重ね、地域発展のため効果的な計画を立案していく。

質問

佐久市としては「樋橋地区開発」の一環で、決して最優先ではない。小諸市が主導して進めるべきだ。

市長

小諸市がリードしていくことも必要だと認識している。



アクセス道路イメージ図(ルート未決定)



喫煙場所を設け受動喫煙防止すべき

清水喜久男

質問

昨年より市役所敷地内全面禁煙となり、商工会議所敷地内、荒町付近や地下等で喫煙している方がいると聞いていますが、守れない決まりを押し付けることなく、喫煙者も禁煙者も納得する方法である「喫煙場所を設け受動喫煙防止とすべき」と考えるがその点はどうか。

市長

同一敷地内への総合病院移転や市民の健康管理、オリンピックに向けた受動喫煙防止対策の強化等を総合的に判断して決定したので、喫煙場所は考えていない。

質問

市役所敷地や市役所は市民のものであるが、敷地内全面禁煙を広報こもろ等で周知したのか。

総務課長

広報等での周知はありません。

質問

防災訓練の実施内容が変わってきており、シナリオに沿った大規模訓練から各地区で住民の皆さん

が参加する方法となっているが、初めて訓練をする地区では、訓練内容や訓練指導者の依頼先等、分からない状況だと考える。他市では「自主防災組織の訓練マニュアル」を作成し訓練の充実に役立っているため、小諸市でも作成し各区へ配布できないか。

市長

具体的な提案であるので作成の方向で努めたい。昨年の台風22号の際に土砂災害地域で避難がありました。図上での避難経路、避難場所等の確認訓練も必要と考えますので、加えて作成したい。



今も多くの人が利用する商工会議所喫煙場所

個人質問



異議あり！「保育園統合、南城公園へ移転」

小林一彦

老朽化が進み防災上の危険区域に立地する芦原保育園と中央保育園の再構築について、「小諸市公立保育園の整備充実に関する検討会」は「両園を統合して南城公園50mプール付近に移転建替が適当」とする報告書を提出しました。

検討会の審議の進め方について疑義がありましたので質しました。

質問

検討会の議事録によれば、移転場所について実質的な審議時間はたった1時間。1時間で結論が出せるような事案なのか。

教育長

検討会の委員の皆さんが本当に真摯に検討いただき大変敬意を表している。検討の経過については何の問題もなかったと考えている。

質問

教育委員会から、候補地として郷土博物館と南城公園が示されたが、その説明資料が不可解。郷土博物館の説明は短所、南城公園は長所のみ偏った記載であり資料として不適切ではないか。

特に偏った説明を意図的にしたつもりはない。

教育長

質問

移転候補地を決めるにあたって保護者や市民の意見を聞いたか。

教育長

正式に移転場所について、園の皆さんに意見を聞いてくださいというのにはなかったと思う。ただ、進行の中で、代表の方もお1人で園をしょっては大変ですので、時々話題にしたりして、皆さんの意向を確認しながらやっていたと理解している。



「検討会」の意見による公立保育園の配置



公文書管理・人生100年時代を生き抜くために

柏木今朝男

質問

公文書の適正管理は、管理規則や規程はあくまで内部規定であり、情報公開条例も公文書管理条例があつてこそ生かされる。公文書管理条例の制定が必要ではないか。

市長

現時点では、ファイリングシステムの確な運用を基本に公文書管理を行うこととしており、条例の制定については予定していない。

質問

人生100年時代を健康で生き抜くためにフレイル^{※1}予防は必要だが認知度が低い。今後の取組はどうか。

市長

指導内容の標準化を図り、筋力の強化に向けた運動指導に力を入れる。HPや広報等で周知したい。

質問

寝たきりの予防に「ロコモ^{※2}」の早期対策・予防が大切であり「新体力テスト調査^{※3}」では40歳代後半から体力水準が著しく低下傾向だ。ロコモ予防には40歳代からの正しい知識と対策が必要だがどうか。

民生部長

高齢者となる以前の段階からロコモも含め健康づくりが必要であり、高齢福祉課、健康づくり課が連携し取り組みを進めていきたい。

質問

人生100年時代、リカレント教育^{※3}の充実が必要だが、明治学院大学との連携で講座を開いてはどうか。

教育次長

実施が可能であれば考えたい。

質問

福祉用具購入費・住宅改修費の受領委任払い制度の導入はどうか。

市長

引き続き検討したい。

※用語の説明

- ※1 **フレイル**
要介護状態になる前の心身の機能低下のこと
- ※2 **ロコモ**
筋肉や骨、関節等の運動器の障害により移動機能が低下した状態のこと
- ※3 **リカレント教育**
生涯にわたって教育と就業を交互に行うことを勧める教育システム



小諸市消防団員の定数減をしたらどうか

丸山正昭

質問

団員定数減をする時期と考えるがどうか。

市長

火災発生件数が減少しておらず、行方不明者の捜索も近年増加傾向にある。さらに団員の皆様には区域内に居住され、地域との密着性が高く、要員の動員力を有すること、また、地域で発生した災害に対して即座の対応が可能であることなど、地域防災力の中核として活動いただいている。

また、日ごろは火災予防広報や特別警戒、そして昨年度からは市内空き家の実態調査にもご協力いただきなど、安全安心のための消防団活動に対する市民の期待やその重要性、必要性は年々高まっていることを考慮すると、直ちに削減することはできないと言わざるを得ないことから、自主防災組織の今後の充実などと併せて、将来において検討していきたいと考えている。

質問



第50回小諸市消防団ポンプ操法大会

坂のまちを生かし、商店と連携した施策はないか。

市長

現在商店街は商店主の高齢化や後継者不足などにより空き店舗が目立ち、市としても危機感を感じているが、これからは空き店舗や空き家等の活用を進めながら若者や女性の起業に対する支援や、次世代を担うキーパーソンの育成にも積極的に取り組むとともに、単にものを売るお店が集まる商店街から、様々な交流が生まれる商店街への転換を進めていきたい。

地区要望の市道改良は計画的に

山浦利夫

質問

生活に密着する市単独道路改良など、地区要望事業はどのような基準で実施しているか。

市長

緊急性や利便性の向上、経済効果が見込めるかなど、5つの項目により点数をつけ、市内全体で優先順位を決め実施している。

質問

地域の環境や地域特性についてまた、事業の申請に至る経緯などを評価基準に加えることはどうか。

市長

地域特性や地域事情なども加味しながら、皆様のご意見をいただき、具体化できるように研究していきたい。

質問

地区要望事業は、地区の要望に十分応えられていない。事業費を増額して計画的に進めていく必要があるのではないか。

市長

事業費の増額は、担当部局と各区の区長さん達とも相談しながら

可能な限り増やしていく方向で検討していきたい。

質問

地域公共交通のネットワーク構築はどのように進めていくのか。

市長

高齢者の方を中心に出来る限り公共交通利用へ移行していただくこと、そして、持続可能な運行経営を図っていくことが課題として挙げられる。

今後の進め方では、利用者アンケートや小諸市地域公共交通連絡会議での協議、さらには庁内関係部局との連絡会議を設け検討を進めていきたい。



個人質問



市民の声を丁寧に取り上げられる市政運営を

柏木博美

質問

複合型施設に関しては、市民説明会、議会と語る会等が出された市民の意見は、共産党議員団が行った「市民なんでもアンケート」も同様で、賛否両論があった。事業の内容が不透明で判断できない、市民の意見は丁寧に聞いてほしい等の声が多かったと思う。どう受け止め、市民合意は得られたと考えるか。

市長

市民説明会で説明し、その場の空気を感じてきた。その際のアンケートの回答等を相対的に勘案すると、一定の理解は得られたと認識し、前へ進める方向で計画案を出していきたいと考えている。

質問

複合型施設が整備される中央中部地区の「まちづくり方針」を具体化し実践していくのは住民なので、一緒に施設を活かしたまちづくりを進めるべきと思うがどうか。

市長

体制作りも含め、さらに加速し

て、しっかり取り組んでいく。

質問

働く保護者が安心して子供を預けられ、子どもの成長の大切な時間を過ごす公立保育園は、均一した保育の質の提供を公平に行う場所だ。実際に保育を提供するのは臨時職員の保育士がほとんどで、不安定な働き方をしていることは大きな課題だと思うがどうか。

市長

同様に認識している。今年度から公立保育園を回って臨時職員や委託職員と懇談を重ね現状を捉え始めている。できる限り働きやすい環境になるよう努めていきたい。



保育士と園児たち



精神障がい者支援の充実を

土屋利江

質問

中小企業の設備投資を促す制度の補助の対象となっている企業は何社か。

市長

工場等整備事業助成金は、今議会へ補正予算で要求しているものを含め8社。生産設備取得事業助成金は、1社のみ。昨年度は8社に対し10件の助成を行っている。

質問

導入促進基本計画の策定状況は。

市長

関東経済産業局へ素案を提出し内容の協議が整い次第、同意が得られると6月中に策定を予定。

質問

精神障がい者支援について、医療と福祉制度の現状はどうか。

市長

医療の支援として自立支援医療制度があり、現在688名の方が利用している。福祉医療制度は現在283名の方に受給者証を交付している。

質問

家族会「はこべ会」の支援は。

市長

会の事務局を担い、補助金を交付するなどの支援を行ってきた。

質問

地域活動支援センターは、障がい者の方や地域住民の居場所となっている。登録をしなくても利用できることで利用者が増えている。専門の相談支援員が必要と思うが、現状と職員体制はどうか。

民生部長

昨年度の登録者は39名。その内22名が精神障がい者の方である。職員は、常勤が2名、非常勤が3名。介護福祉士と社会福祉士の指導員が相談支援に当たっている。



地域活動支援センター（相生町）



総合計画 第5次基本構想の実現を

相原久男

質問

第4次都市再生整備計画の各部署との連携はどうか。

市長

特に喫緊の重点事業として、複合型中心拠点誘導施設整備を進めている。関係する課が多いので庁内事業推進会議を開催し、連絡調整を図る。総事業費については、施設全体の設計・施行、周辺道路整備等、多くの部分を担当する都市計画課が算定し、企画課が調整管理を行う。

多極ネットワーク型コンパクトシティ構想は、今後さらに加速する少子高齢化や生産年齢人口の減少を見越した、これからの小諸市のまちづくりの、10年、20年先を見据えた構想であり、市の中心部だけでなく、市域全体にメリットをもたらすものと考えている。

質問

施設の基本計画（素案）の進捗状況はどうか。

市長

市民説明会での要望、議会から



小諸市の玄関

の要望・意見等を総合し、公共施設に入れる方向で検討している施設は、高齢者福祉センター、また公共交通のターミナル、公共駐車場、病児・病後児保育の部分、ボランティアセンター、ファミリーサポートセンター、医療センターの院内保育所を考えている。

特に若者の施設との要望があり、特化した機能ではないが若者が気軽に集えるフリースペースを考えている。

病児・病後児、院内保育所については、高齢者福祉センターの部分と階層を分け、落ち着いた環境づくりを検討中である。



複合型中心拠点誘導施設整備の考え方は

中村憲次

質問

10回の市民説明会で市長は、市民に一定の理解を得たと言いが、賛否両論がある中、どの程度の理解度を指すのか。

市長

説明会と、会場でのアンケート等で一定の理解をされたと判断する。また、一方の意見では反対と言うよりは事業の進め方、市民への公表の時期等の指摘と理解をする。今後は出来るだけ、その都度丁寧な説明をして行きたい。

質問

本整備構想の再考を求める会の署名活動が実施され、第一回の署名簿（2千148名）が出されたが、それを市長はどう捉えているか。

市長

「再考を求める」署名活動をされた皆様は大変な御苦労をされた事と推察し、皆様の小諸市に対する一方ならぬ思いの強さからであり、また、署名された方にも同じく謙虚な気持ちで敬意を表したい。今後は自治基本条例に基づいて、



改修前の脇本陣（桑屋）

情報公開、説明責任等市民協働の精神で、市民不在とならぬ様、責任を果たして行きたい。

質問

中心市街地街の賑わいの創出についての具体的な施策はどう考えているか。

市長

地元商店街の皆さんが備え持った知識、専門性を活かして郊外店に無い付加価値を提供し、努力して頂きたい。商工会議所と連携しサポートして行きたい。改修中の脇本陣も賑わいの創出に期待をし、観光誘致をしたい考えだが、現在決定打が見出せない状態である。

個人質問



3年前に指摘したことが、なぜ進まない！

早川 聖

質問

3年前、一般質問で小諸市指定文化財の保存状況等について指摘した結果、幾つかの指定文化財の古墳では文化財を示す標識柱及び説明版が設置された。

今回、改めて質問するに当たり、指定文化財の幾つかの古墳を視察してきたが、3年前と変わらないような状況で草木は生い茂り、場所によっては盛り土が崩れ、土砂が流れ込んだり、墳丘の形跡すらなく石室の石組みが崩落するといようなところもあった。

市は、このような状況をしっかりと把握し、改善を図るべきではないか。

市長

年間予算も限られている。文化財というものは、後世に私たちが引き継いでいかなければならない。予算措置に関してはしっかりと研究をしながら、国のほうともまた確認しながらやっていきたい。

質問

旧郷土博物館は耐震性が無いの



未整備の市指定文化財（加増第1号墳）

に、貴重な文化的な価値のある展示物が収蔵品となり、今はお蔵入りをしているので郷土博物館の再開を寅さん会館の後利用ですすめてほしい。

ただ保存するのではなく、早い段階で日の目を見る努力をしていただき、さらには安全な場所へ移すことが必要ではないのか。

教育長

収蔵品を見せるようないい形で展示して、市民の皆さんが日常的に何か触れるような文化財として公にしたほうが良いという話もある。できるだけ形になるようにしたい。



通学路の危険回避状況はどうか

竹内 健一

質問

新潟女児殺害事件を受け、市内全校通学路の危険区域を確認するための緊急点検を実施したのか。

教育長

校長会で安全確保マニュアルの再確認と指導の徹底を呼び掛け、教育委員会職員で下校時刻に合わせて巡回パトロールを実施した。警察関係者と共に、連携強化を図る。

質問

児童への防犯ブザー着用状況は。

教育長

入学時の寄贈により全児童が所持している。なお、H27からは信越放送様より寄贈いただいている。

質問

通学路へ防犯カメラ設置どうか。

教育長

維持管理の問題やプライバシーの保護の観点から地域住民の合意形成が必要であり、課題が多いので慎重に検討する。

質問

青色防犯パトロールカー13台に

ドライブレコーダ装備できないか。

総務課長

費用・機能も含め研究していく。

質問

新たな都市宣言制定の考え方は。

市長

市民から声が上がりに議論を深め、市民協働でのプロセスが必要だ。

質問

複合施設建設への業務委託の状況と基本計画の素案から策定までの間、市民説明に時間をかけ臨時議会開催も視野に入れたらどうか。

市長・総務部長

策定のため事業費を節減できるような施設規模及びレイアウトを調整している。臨時議会も検討する。



信越放送寄贈の防犯ブザー（ろくちゃん）



複雑な状況にある子どもたちへの配慮を！

小林重太郎

質問

小諸市の子どもの貧困対策について、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」は意識しているか

市長

貧困は子どもたちの生活や成長に様々な影響を及ぼす。子どもが将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るための子どもの貧困対策は極めて重要であると考えている。

本市においても、関係各課で生活や教育等に関する助成制度や、相談支援などを連携して行っているが、まだ不十分な部分もある。法律では、地方公共団体においても、子どもの貧困の支援のために必要な施策を講ずるものとする」と定められている。状況を把握しながら、必要な支援を行っていくよう努めていきたい。

質問

複雑な状況にある家庭の子ども

たちへの配慮は出来ているか

教育長

全ての子どもが多種多様な家庭環境の中で生活しているので、複雑な状況にある家庭というものも様々である。

子どもたちの感じ方は一人ひとり違うため、完璧な配慮ができていないとは言えないが、できる限り子どもたちの気持ちを考えた対応をしていかなければならない。

特に行事を行う際などは、そのような子どもたちへの配慮を常に意識し、子どもたちがいやな思いをしないように心掛けたいと考えている。



市民合意を大切に市民にやさしい市政運営を

福島鶴子

質問

自治基本条例は、市民一人ひとりが主体的に行動し、暮らしやすい地域を協働で作る事を謳っている。まちづくりへの市民の関心をどうとらえているか。

市長

まちづくりへの関心度は十分とは言えない。市民参加型の会議への参加者が固定化している。

質問

参加者の固定化が問題と感じるなら、固定化しない方法を考えるべきではないか。

市長

審議会、委員会等があるが、各団体の代表となると、同じ立場の人の出席となる。市政参加を促し協働につなげる手段、方法について提案いただければ参考にしたい。

質問

高知市の例がある。関係者の他に、住民台帳から無作為抽出した市民が多数参加した結果、行政の事業や税の使い方への関心が飛躍的に高まったと聞く。この挑戦を

どう思うか。

市長

行政に関心を持っていただくという意味で、大変素晴らしい手法かと思う。

質問

市民にやさしい市政運営を考えた時、高齢者タクシー利用助成事業は継続を望む声が多いがどうか。

民生部長

デマンド交通が整備されるまでの代替的位置づけで始まったものだが、高齢者の交通手段として、他の事業とも連携を取りながら、方針もあるが、工夫はしたい。



タクシー助成金継続で高齢者の外出も安心

個人質問



愛のりくん75歳以上100円にならないか!!

神津眞美子

質問

複合型施設整備については、ハード事業に合わせて、そのメリットが全市域で実感できるソフト対策も同時に必要と考える。具体的にはネットワークとなる公共交通を使いやすくすることで、施設完成に合わせての運賃改定を提案したい。75歳以上の方は片道100円にならないか。

総務部長

真摯に受け止め、公共交通並びに高齢者対策として大切な議論と認識する。

質問

運賃が安くなれば、気軽に出かける気持ちにもなれて、乗車回数も増え、出歩くことで介護予防にもなる。タイミングが重要だ。複合型施設の完成に合わせて実施できないか。

市長

外出する機会を増やす意味で、割引は大変重要だ。タイミングもある。一方、経費もあるので、しっかり調整しなければならないが、

前向きに取り組んでいきたい。

質問

複合型施設が完成となる2年後には、愛のりくんの車両のリース更新時期を迎える。そこで当初の目的であったドア・ツー・ドアが実現できるように、狭い道路も通れる車両への交換ができないか。

建設部長

愛のりくんの小型化への要望が多いのは承知している。ただ、デメリットとして乗車定員が減り台数が増える可能性があり、ドライバーも多くなると、予算を考えないとならない。そのため慎重に検討していく必要があると考える。



市内を走るこもろ愛のりくん

9月定例会のご案内

傍聴をお待ちしております

9月定例会の予定をお知らせします。

予定のため変更となる場合があります。

開議時間は概ね9時からです。

詳しくは、議会事務局22・170

0代へお問い合わせください。

◆委員会を傍聴してみませんか

小諸市議会では、会議は原則公

開となっております。本会議だけ

なく、各常任委員会も傍聴するこ

とができます。

是非傍聴にお出かけください。

次回9月定例会の日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
8 / 27	28	29	30	31	9 / 1	2
本会議 (提案説明等)						
3	4	5	6	7	8	9
	本会議（一般質問）			総務文教 委員会・ 分科会		
10	11	12	13	14	15	16
総務文教 委員会・ 分科会	福祉環境委員会・分科会		経済建設委員会・分科会			
17	18	19	20	21	22	23
		予算決算 委員会				
24	25	26	27	28	29	30
	本会議 (委員長報告等)					



ぼいす

第5回

キラキラ★小諸人

千曲川硬式野球クラブ

千曲川硬式野球クラブと南保育園長児クラスとの交流会をお訪ねしました。メンバー34名のうち4名（神奈川県、沖縄県松本市、長野市出身）が休みをとって子どもたちと野球の入門ゲームである「ティーボール」を楽しみました。ゲーム後は私達も一緒においしい給食をいただきました。

Q1 保育園児との交流会開催の理由は。

主催は、小諸地域野球協議会ですが、地域貢献の一環としてお手伝いさせていただきました。

また、野球人口が減っている小さい頃から野球になじんでほしいと思います、保育園児にもできるティーボールで楽しいと感じてほしいです。

Q2 子どもたちと楽しくできましたか。

最初は、ルールが理解できずに反対回りをすることもいましたが、回る重なるごとに上手になってきました。

Q3 小諸に住んでみて感想はどうですか。

ボールを必死に追いかける子どもの姿を見て、楽しんでやるのが大事だと思いました。勝ち負けより楽しむという大切さを実感しました。

Q4 小諸市に期待することは何ですか。

野球ができる環境ならと小諸へ来ました。メンバーの中には沖縄出身者が3名いて、宮古島出身者は「寒さ・雪道の運転・雪かきの重労働」に驚いていました。でも何よりも自然が美しいです。



選手と南保育園の皆さん

こちらに来てから、結婚して定住したメンバーもいます。佐久市は、3人目の保育料が無料です。小諸市も子育てに資金がかからない政策をお願いします。

☆今年も全国から野球が大好きな9名の新人が仲間入りしたそうです。小諸市民でもある千曲川硬式野球クラブの皆さんの更なる活躍を期待します。

傍聴席



古城区 竹内 功 さん

来当り前普通の状態を新鮮に感じた市議会でした。私は病気治療中で長時間無理、関心強い三点傍聴致しました。

介護保険、国が仕事を地方に押しつけ、保険料だけ高くなつながら全体に使いにくくさせた悪さ、体験で感じています。

文化財保護、小諸市の誇る財産、町造りの為にも大切にしてほしい。

複合型施設、市は、議会や市民の意見を生かしたいと答弁、議論はもう

一段上のレベルの思いです。市民の力による文化、地方自治発展は、ルネサンス始め世界的財産。日本はやっと現憲法五原則の一つとして引継がれました。小諸の地方都市魅力発展をめざし、前段だけでなく皆が町の中央を使い生活、楽しみ、交流ができる施設や条件を深く考え議論の必要あり。ところで最近国に直せ

と言つべき事多いですが、特に住民直撃の地方自治介入は絶対許せませんね。

編集後記



この度の「西日本大豪雨」により甚大なる被害を受けられました皆様には、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。実に9府県に及ぶ大雨特別警報が発令されたことは例になく、地球全体が異常の中にあること感じざるを得ません。急峻な山河を抱く海洋国家である我が国として、防災対策をはじめ、安心安全に向けての新たな対応策を練り直す時に来ていると感じます。

「議会と語る会」の際には、市

民の皆様から様々な意見をいただく中で、市政に対し真剣に考えている姿勢がうかがえて、大変感謝しております。一方、市当局側においても、立地適正化計画に基づいた、都市機能を低下させることなく、市民生活の向上と適切な福祉、医療施設の設置に向けて真摯な検討が成されています。市議会としましても、官民連携による成果をしっかりと検証していきます。

(善)

印刷/三夕印刷サービス株式会社

